

学校評価 令和3年度 考察

本年度、本校は『ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成』を学校教育目標に掲げ、これを達成するため次の5つの重点目標を設定しました。

- ①「確かな学力」の向上を推進し、意欲的に学習に取り組む生徒を育てる。
 - ・生徒を教職員全員で育てる意識のもと、「ふれあい授業」を実践し、学習意欲の向上と授業改善に努める。
 - ・授業の「めあて」を明示するとともに、授業の「まとめ」の時間を実践する。また、授業において生徒の活動を積極的に取り入れる。
- ②地域との連携を通して、地域と共にある学校をめざす。
 - ・ホームページ・メール配信等による情報発信や地域人材の活用を積極的に行う。また、家庭・地域に足を運び連携を密にする。
- ③人権・道徳教育の充実を図り、心豊かな生徒を育てる。
 - ・「学校アンケート」を定期的実施することにより、本校生徒の実態を正しくとらえ、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組む。
 - ・人権・道徳授業を公開し、家庭・地域と共にある学校づくりに組織的に取り組む。
- ④防災・安全教育を推進し、災害から命を守る知識や実践力を身につける。
 - ・災害発生時に適切な行動が取れるように防災教育・防災訓練を推進し、自分の命は自分で守れる生徒を育成する。
- ⑤体育・文化活動を奨励し、活気のある学校にする。
 - ・体育活動や文化活動に積極的に取り組む。また、部活動の充実を図る。

年度末を迎え、これらの取り組みをふり返るとともに、1月に実施したアンケート結果も踏まえ、来年度に向けての具体的な教育活動の検討を行いましたので、集計結果と共に報告します。

※ 回答のうち「よくあてはまる・あてはまる」を肯定群、「あまりあてはまらない・あてはまらない」を否定群と設定

① 「確かな学力」の向上を推進し、意欲的に学習に取り組む生徒を育てる。

- ・「**家庭学習が習慣になっている**」の肯定群は保護者76%（昨年度86%）、生徒は79%（昨年度80%）でした。一方、職員は肯定群が87%（昨年度91%）となっておりますが、宿題などの課題の出し方や量については再考の必要があります。
- ・「**基礎学力が身についている**」の肯定群は生徒60%（昨年度80%）、また、職員は肯定群が100%（昨年度100%）となっており、このことから、職員も手ごたえを感じていますが、今後は、「主体的・対話的で深い学び」を生かした授業改善に取り組むとともに、タブレット端末を活用した学習方法の工夫や自分の意見を積極的に伝える授業の展開を通して学力の定着を図っていきたいと考えています。
- ・教師の学習指導に関する生徒の評価は、「**授業は工夫しており、楽しくわかりやすい**」は76%（昨年度90%）、「**テストで間違えたところや授業でわからないところをわかるまで教えてくれる**」は、84%（昨年度97%）、「**学習結果や努力を適切・公平に評価してくれる**」は、100%（昨年度100%）となっています。また、「**一人ひとりに応じた指導をしてくれる**」は保護者が84%（昨年度78%）となっています。「ふれあい授業」を通して授業改善をし、各教科ごとに工夫した授業を行っています。さらに「めあて」の明示・「ふり返り」の時間の確保、ペア学習・グループ活動などの生徒の活動をとおして、わかりやすく楽しい授業の実践と「深い学び」ができるように努力していきます。

② 人権・道徳教育の充実を図り、心豊かな生徒を育てる。

- ・「**誰とでも同じ態度で接し、悪口を言ったりしない**」87%（昨年度97%）、「**言葉遣いや行動に優しさが感じられる**」は保護者100%（昨年度100%）となっています。「**豊かな心が育**

っている」は生徒84%（昨年度100%）となっています。「**自尊感情が育っている**」と感じている職員は60%（昨年度50%）でした。今後とも自己肯定感の育成に取り組み、学校教育目標にもある「心豊かにたくましく生きる生徒の育成」をめざしていきます。

③ 地域との連携を通して、地域と共に学校をめざす。

- ・「**ふるさと加茂谷のことが好きである**」の肯定群は生徒100%（昨年度100%）でした。「**PTA活動など、家庭と学校の協力関係ができています**」は保護者100%（昨年度86%）でした。一方、職員は肯定群が94%（昨年度100%）、「**学校からの便りやホームページなどで、学校の取り組みがよく分かる**」は保護者96%（昨年度87%）となっており、さらに家庭・地域との連携を深め、地域と共に歩む学校づくりに取り組んでいきます。

④ 防災・安全教育を推進し、災害から命を守る知識や実践力を身につける。

- ・生徒の「**防災訓練や交通安全に積極的に取り組んでいる**」の肯定群は84%（昨年度97%）でした。また、保護者の「**防災や交通安全の意識が高まっている**」の肯定群は92%（昨年度83%）でした。年間2回の避難訓練に加えて、防災教育の一つとして過去に起こった浸水や堤防工事の始まりについても折に触れて伝えていこうと思っています。

⑤ 体育・文化活動を奨励し、活気のある学校にする。

- ・保護者の「**部活動の指導に満足している**」の肯定群は80%（昨年度87%）となっています。また、部活動の指導の一つでもある「**大きな声であいさつができています**」の肯定群は生徒76%（昨年度90%）、保護者80%（昨年度74%）、職員84%（昨年度75%）でした。教師が積極的にあいさつをして行動で示すことに取り組みます。また、部活動や市陸・駅伝大会、学校行事等に向けた取り組みから部活動を活性化するとともに、活気のある学校をめざし少人数でも十分にやれるところをみせていこうと思っています。

学校評議員会（アンケート）でいただいたご意見から（令和3年度）

○コロナ感染対策への配慮大変だったと思います。お疲れさまでした。

○コロナ禍で子どもたちの様子があまり見えなくて残念ですが、先生方や職員の皆様の努力に感謝申し上げます。

○少人数や地域の良さを活かした教育が継続できるようお願いします。